

栃木市立美術館企画展「写真家が捉えた 昭和の子ども」の開催について

- 1 目的 きむらい へい どもんけん うえだしょうじ 木村伊兵衛、土門拳（旧字）、植田正治といった日本の写真史に大きな足跡を残した19人の写真家たちが撮影した子どもたちの写真約170点を展示し、明るく、力強く生きた昭和の子どもたちの姿をとおして、激動の昭和時代を振り返ります。
- 2 会期 1月13日（土）～3月24日（日）
- 3 所在地 栃木市入舟町7-26
- 4 開館時間 9時30分～17時（入館16時30分まで）
- 5 休館日 月曜日（祝日の場合は開館し、翌火曜日休館）、2月13日、3月21日
祝日の翌日（土・日・祝日の場合は開館）
- 6 会場 栃木市立美術館 展示室 A, B
- 7 展示点数 170点
- 8 主な展示作家 いりえたいきち くまがいもといち 木村伊兵衛、入江泰吉、熊谷元一、土門拳（旧字）、植田正治、
くわばらきね お ひだ の かずう えもん みどりかわよういち はま や ひろし やまはたようすけ はやただひこ
桑原甲子雄、飛弾野数右衛門、緑川洋一、濱谷浩、山端庸介、林忠彦、
いのうえこうじ いわみやたけじ はがひでお ながのしげいち むぎしままさる たぬまたけよし
井上孝治、岩宮武二、芳賀日出男、長野重一、麦島勝、田沼武能、
くまきりけいすけ さいとうこういち
熊切圭介、齋藤康一
- 9 観覧料 一般・大高校生 800円（640円）、中学生以下無料
*（ ）内は20名以上の団体料金、企画展観覧料で収蔵品展無料観覧
*身体障害者手帳等の交付を受けている方とその介助者1名は無料
- 10 関連事業
 - (1) 輝いていた！昭和のわたし
市民が撮影した昭和の子どもの写真を展示
会期：1月13日（土）から3月24日（日）
場所：栃木市立美術館 多目的室(つなてみち)
募集期間：展覧会会期中随時
募集点数：1人3点まで
*応募当日に限り、応募者と同伴者1名は団体料金（640円）で、
企画展を観覧できる
 - (2) 写真ワークショップ「時間めぐりーとちぎの今を写すー」
しのはらせいじ
講師：篠原誠司氏（足利市立美術館学芸員）
日時：1月27日（土）10時から16時
*雨天の場合は2月3日（土）に延期
場所：栃木市立美術館とその周辺

対象：どなたでも(小学生以下は保護者の同伴必須)
準備するもの：デジタルカメラ(スマートフォン可)
定員：15名
参加費：1人300円(写真印刷代等含)
申込：1月6日(土)10時から電話受付(先着順)

(3) 講演会「アート×美術館×認知症：アトリップ(対話型鑑賞)の概要と効果」

講師：^{はやしやうこ}林容子氏(一般社団法人アーツアライブ代表理事、尚美学園大学・大学院准教授)

日時：2月7日(水)13時30分から14時30分

場所：栃木市市民交流センター大交流室

定員：70名

申込：1月6日(土)10時から電話受付(先着順)

参加費：無料

主催：一般社団法人アーツアライブ

共催：栃木市立美術館

助成：日本財団

(4) 双方向対話型鑑賞「語ろう、昭和のこどもたち」

対話先導：^{すぎむらひろや}杉村浩哉(当館館長)

日時：2月25日(日)14時から15時

会場：展示室A,B(要当日の企画展観覧券)

(5) 学芸員によるキッズギャラリートーク

日時：3月9日(土)14時から14時30分

対象：小学生以下

集合場所：多目的室(つなてみち)(保護者の方は要当日の企画展観覧券)

問合せ：教育委員会事務局 美術・文学館課 (栃木市立美術館) 担当：河野 電話：0282-25-5300
